

今年も梅雨の季節になりました 災害への備え(意識)をお願いします!

防災に関するおたずね／防災安全課☎21-6606
および各支所

災害に備えて知っておきたいこと

市では、防災情報（避難準備情報含む）や避難勧告、避難指示を防災行政無線、ケーブルテレビ、有線放送（情報いすも・ひらたCATV音声告知・大社ご縁ネット）、エフエムいすも、緊急速報メール（NTTドコモ、au、ソフトバンクモバイル）、広報車や町内連絡網等でお知らせします。



緊急度	市が発表する避難情報	発表内容	対象となった地域の みなさんの行動例
高  	避難指示	危険が迫っています。 一刻も早く避難するか、生命を守る最大限の行動をとってください。	<ul style="list-style-type: none"> 直ちに避難を完了 ただし、避難する余裕がない場合には、自宅の安全な場所等に退避
	避難勧告	速やかに避難をしてください。	<ul style="list-style-type: none"> 指定された避難場所への速やかな避難 ただし、周囲の状況から、指定避難所まで行くのに危険を伴う場合は、近くの一時避難場所等へ速やかに避難
	防災情報 (避難準備情報を含む)	避難の準備をしましょう。 避難に時間のかかる方は避難をはじめてください。	<ul style="list-style-type: none"> 非常持出品の準備 避難所、避難経路の確認 防災情報、気象情報の収集 避難行動要支援者の避難及び支援

防災ハザードマップ

災害に対する日頃の備えと、いざという時に役立てていただくため、市では防災ハザードマップを作成しています。

防災ハザードマップは、みなさんがお住まいの地域で、洪水によってどこがどの程度浸水するおそれがあるか、また、どこが土砂災害の発生するおそれがあるか、どこが津波によって浸水するおそれがあるかなどを示したものです。指定避難所情報も記載しています。

お近くのコミュニティセンターまたは市役所本庁及び各支所で配布しています。（市ホームページからも取得可能）

詳しくは、防災安全課(☎21-6606)までおたずねください。



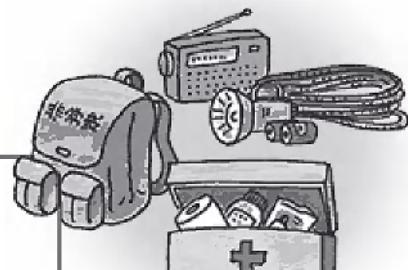
自ら防災情報を入手しよう

災害から身を守るためにには、正確な防災情報を入手し、早めの行動を心がけることが大切です。そのために必要となる防災情報の入手先を次のとおり紹介します。

テレビ

- 出雲ケーブルビジョン 11チャンネル
- ひらたCATV 11チャンネル

出雲地域に大雨、洪水警報が発令されたとき、注意報・警報の発令状況、雨量・水位情報、市からの防災情報を放送します。



ラジオ

- NHK第1放送(AM) 周波数1296KHz
- 山陰放送(AM) 周波数1431KHz
- エフエム山陰(FM) 周波数 77.4MHz
- エフエムいづも(FM) 周波数 80.1MHz

※「エフエムいづも」は、災害時等には市からの緊急情報を割り込み放送で実施しています。

インターネット

- しまね防災情報 <http://www.bousai-shimane.jp/>
- 出雲市防災情報 <http://izumocity.bosai.info/>

注意報・警報、雨量・水位情報、アメダス、気象レーダー、台風情報、衛星画像、地震情報等や市からの防災情報が入手できます。

携帯電話メール

しまね防災メール↓登録方法↓

- ①空メールを送信してください。
送信先アドレス : bousai-shimane@xpressmail.jp
- ②登録用メールが30分以内に届きます。
- ③内容を確認のうえメール本文内の登録用URL(アドレス)を選択してください。
- ④登録画面で配信希望情報等を登録してください。

QRコードから送信先
アドレスを取得できます。



注意報・警報、
地震情報、水防
情報、土砂災害
情報、市からの
防災情報が配
信されます。

土砂災害から身を守るために

～集中豪雨の危険が高まる6月は『土砂災害防止月間』です～

土砂災害が発生する前には、前兆現象が起こる場合があります。前兆現象に気付いたら早めに自主避難し、防災安全課(☎21-6606)および各支所、または出雲県土整備事務所(☎30-5649)へ至急連絡してください。

がけ崩れ

雨で地中に染み込んだ水分が土の抵抗を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象。

〈前兆〉

- がけからの水が漏る。
- がけに亀裂が生じる。
- 斜面から小石がパラパラ落ちてくる。



土石流

大量の土砂等が、豪雨による大量の水と混ざり合って、津波のように流れ出す現象。

〈前兆〉

- 山鳴りや立木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる。
- 川の水が急に濁り、流木が混ざりはじめる。



地すべり

粘土などの地中の滑りやすい層に雨水が入り込み、地面がズルズルと動き出す現象。

〈前兆〉

- 地面にひび割れができる。
- 湧き水や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が噴き出す。



斐伊川放水路放流時の周知方法

大雨で斐伊川が増水し、斐伊川本川の洪水量が毎秒約400m³を超えると、斐伊川放水路に自然越流が始まります。その後、同じく毎秒500m³を超えると斐伊川放水路分流堰のゲートを倒す操作を行います。ゲート操作を行う場合は、次のように周知します。

ゲート操作 約1時間前

国土交通省出雲河川事務所から、県庁、市役所、出雲警察署、出雲消防署へ放流通知があります。また、河川内に人がいないか警報車で下流の巡視を行います。

ゲート操作 約30分前

斐伊川放水路、神戸川沿いに29か所設置している放流警報局で、次の周知を行います。

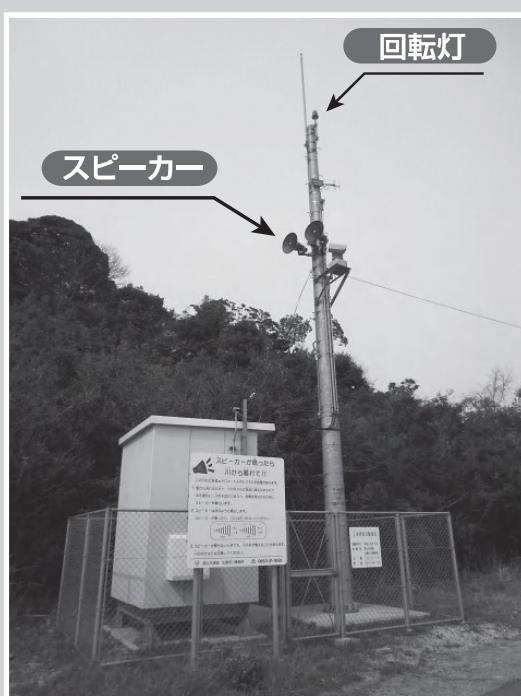
- スピーカー・・・30秒鳴らす→6秒休止→15秒鳴らす
- 回転灯・・・周知開始から分流終了まで回転

※分流堰の操作で川の水かさが急激に増える恐れがあるため川には近づかないでください。

ゲート操作開始

また、出雲河川事務所のホームページでも、周知を行います。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>



放流警報局(大津上来原町内)



放流警報看板

おたずね

国交省 出雲河川事務所 ☎21-1850
出雲市 建設企画課 ☎21-6561